

施策評価調書(1)

評価対象年度	28年度
--------	------

めざす姿	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
施策名	3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
施策関係課	市民生活部:自治振興課/経済部:グリーンセンター/生涯学習部:生涯学習課、文化推進室、中央図書館、科学館、スポーツ課

●施策の基本方針(目標)

自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

●目標指標								
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(平成32年度)		現状値	32.7(平成27年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	32.7						
指標②	名称	生涯学習施設*の利用者数(*公民館等、図書館、科学館、スポーツ施設)			単位	人	指標の種別	結果
	目標値	6,953,000(平成32年度)		現状値	6,492,941(平成26年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	6,888,325						
指標③	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

	(単位:千円)	28年度決算見込額	29年度予算額	30年度計画額	31年度計画額	32年度計画額
事業額	事業費	1,972,946	2,110,709	1,834,067		
	概算人件費	630,642	616,294	618,166		
	総事業費	2,603,588	2,727,003	2,452,233		

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 54	単位施策② 53	単位施策③ 54	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
			53.7		

施策評価調書(2)

評価対象年度 28年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 生涯学習活動の支援							
事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	28年度の	29年度の
			事業費 (決算見込額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23100102	公民館施設整備費	生涯学習部	3,027	70,393	70,393	53	拡充して実施
		生涯学習課	410	936	936		
23100202	図書館施設整備費	生涯学習部	82,021	36,805	36,805	56	現状維持で実施
		中央図書館	410	390	390		
23100301	社会教育活動運営事業	生涯学習部	1,773	2,758	2,758	56	現状維持で実施
		生涯学習課	410	390	390		
23100401	施設予約システム事業	生涯学習部	7,396	0	0	58	現状維持で実施
		生涯学習課	4,100	3,900	3,900		
23100501	市民大学事業	生涯学習部	2,342	2,763	2,763	56	効率化して実施
		生涯学習課	4,920	4,680	4,680		
23100601	人材バンク事業	生涯学習部	5	24	24	50	拡充して実施
		生涯学習課	1,230	1,170	1,170		
23100701	子ども大学かわぐち実行委員会交付事業	生涯学習部	437	437	437	56	現状維持で実施
		生涯学習課	2,706	2,574	2,574		
23100801	社会教育団体育成事業	生涯学習部	36	72	72	58	効率化して実施
		生涯学習課	820	780	780		
23100901	社会教育団体補助事業	生涯学習部	1,195	1,195	1,195	48	現状維持で実施
		生涯学習課	164	156	156		
23101001	公民館施設運営費	生涯学習部	149,021	187,202	187,202	52	現状維持で実施
		生涯学習課	5,084	4,836	4,836		
23101101	中央ふれあい館施設運営費	生涯学習部	914	1,004	1,004	50	効率化して実施
		生涯学習課	23,800	29,190	29,190		
23101201	婦人会館施設運営費	生涯学習部	550	586	586	58	現状維持で実施
		生涯学習課	21,400	26,700	26,700		
23101301	青少年会館施設運営費	生涯学習部	215	0	0	58	縮小して実施
		生涯学習課	21,400	26,700	26,700		
23101401	文化会館施設運営費	生涯学習部	770	813	786	44	現状維持で実施
		生涯学習課	24,700	26,300	26,300		
23101501	図書館施設運営費	生涯学習部	412,182	413,308	413,308	58	現状維持で実施
		中央図書館	287,000	273,000	273,000		
23101601	社会教育施設指定管理者管理運営費	生涯学習部	68,915	68,915	68,915	56	現状維持で実施
		中央図書館	820	780	780		
23101701	科学展示施設運営費	生涯学習部	41,742	44,063	46,079	50	現状維持で実施
		科学館	24,764	22,152	23,556		
23101801	天文台施設運営費	生涯学習部	721	807	752	52	現状維持で実施
		科学館	11,972	11,154	11,388		
23101901	プラネタリウム施設運営費	生涯学習部	14,365	14,583	14,317	56	現状維持で実施
		科学館	14,268	13,182	13,572		
23102001	特別企画事業費	生涯学習部	11,738	9,241	15,236	56	現状維持で実施
		科学館	8,118	7,878	7,722		
23102101	科学館ネットワーク更新事業	生涯学習部	3,913	5,218	5,218	56	現状維持で実施
		科学館	738	78	78		

施策評価調書(2)

評価対象年度	28年度
--------	------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名		② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	28年度の	29年度の
			事業費 (決算見込額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23200202	青木町公園総合運動場庭球場人工芝改修事業	生涯学習部 スポーツ課	63,990	0	0	56	完了
			1,230	0	0		
23200301	流水プール施設運営費	経済部 グリーンセンター	39,609	40,728	40,728	44	現状維持で実施
			6,304	7,488	7,488		
23200401	スポーツ推進審議会事業	生涯学習部 スポーツ課	194	208	208	50	現状維持で実施
			2,050	1,950	1,950		
23200501	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	生涯学習部 スポーツ課	1,577	1,979	1,979	50	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23200601	各種体育大会開催事業	生涯学習部 スポーツ課	236	243	243	50	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23200701	体育関係表彰事業	生涯学習部 スポーツ課	675	693	693	50	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23200801	ツデーマーチ実行委員会交付金	生涯学習部 スポーツ課	1,700	1,700	1,700	52	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23200901	学校体育協会事業	生涯学習部 スポーツ課	3,194	3,295	3,295	50	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23201001	体育協会事業	生涯学習部 スポーツ課	53,844	53,844	53,844	60	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23201101	スポーツ推進委員協議会事業	生涯学習部 スポーツ課	12,389	13,068	13,068	60	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23201201	レクリエーション協会事業	生涯学習部 スポーツ課	3,878	3,878	3,878	48	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23201301	スポーツ少年団事業	生涯学習部 スポーツ課	1,200	1,200	1,200	46	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23201401	スポーツ推進補助事業	生涯学習部 スポーツ課	15,602	15,927	15,927	48	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
23201501	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	生涯学習部 スポーツ課	154,286	154,948	155,444	58	現状維持で実施
			2,050	1,794	1,794		
23201601	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	生涯学習部 スポーツ課	134,797	134,986	134,986	58	現状維持で実施
			2,050	1,794	1,794		
23201701	施設予約システム事業	生涯学習部 スポーツ課	13,662	0	0	58	完了
			2,050	0	0		
23201801	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認取得事業	生涯学習部 スポーツ課	131,477	285,028	0	56	現状維持で実施
			1,230	0	0		
23201901	スポーツ教室開催事業費	生涯学習部 スポーツ課	1,158	1,008	1,008	60	現状維持で実施
			19,800	18,500	18,500		

単位施策名		③ 文化芸術活動の支援					
事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	28年度の	29年度の
			事業費 (決算見込額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23300102	文化芸術鑑賞事業	生涯学習部 文化推進室	745	442	669	52	効率化して実施
			1,394	1,326	1,326		
23300202	アートギャラリー企画関係費	生涯学習部 文化推進室	20,733	18,982	18,982	52	現状維持で実施
			13,120	12,480	12,480		
23300301	総合文化センター指定管理者管理運営費	市民生活部 自治振興課	484,014	484,370	484,370	54	現状維持で実施
			1,476	1,170	1,170		

施策評価調書(2)

評価対象年度	28年度
--------	------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	28年度 事業費 (決算見込額)	29年度 事業費 (予算額)	30年度 事業費 (計画額)	28年度の 総評価	29年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23300501	市民コンサート事業	生涯学習部	488	938	938	56	拡充して実施
		文化推進室	2,214	2,106	2,106		
23300601	芸術賞賞賜事業	生涯学習部	852	920	920	56	拡充して実施
		文化推進室	1,804	1,716	1,716		
23300701	文化振興交付事業	生涯学習部	15,459	15,475	15,475	56	効率化して実施
		文化推進室	15,580	14,820	14,820		
23300801	旧芝園中学校アトリエ利用 事業	生涯学習部	250	300	300	58	拡充して実施
		文化推進室	1,230	1,170	1,170		
23300901	文化団体補助事業	生涯学習部	1,650	1,650	1,650	50	現状維持で実施
		文化推進室	1,066	1,014	1,014		
23301001	アートギャラリー事業運営 費	生涯学習部	12,008	14,712	14,712	52	現状維持で実施
		文化推進室	14,760	14,040	14,040		

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23100102	事業名称	公民館施設整備費	事業区分	主要な事業 政策宣言18	
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2461	新規・継続	継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚公民館	戸塚公民館利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口グリーンエナジー戦略計画に基づき、環境に配慮した照明器具等を設置する。	戸塚公民館のLED照明器具借上。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	戸塚公民館のLED照明器具を借上げた。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	LED照明の設置により環境負荷の低減に寄与した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	002細目	03細々目	公民館施設整備費	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	3,027			70,393			70,393	
決算額(B)	3,027							
財源	特定財源	0						
	一般財源	3,027						
概算人件費(C)	410			936			936	
従事職員人数(人)	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.12	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	3,437			71,329			71,329	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
53 /60	LED照明器具の借上期間満了後の照明の取り扱いが課題である。	29年度 拡充して実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23100202	事業名称	図書館施設整備費			事業区分	主要な事業 政策宣言18
担当	生涯学習部	中央図書館	問い合わせ先	#69-2986	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館設置及び管理条例施行規則

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 全市民(施設利用者)	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民の要求に対し、的確に資料・情報を提供することを目的とする。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 市全域を対象とし、誰もが気軽に利用できる生涯学習施設として、機能の充実を図る。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 計画的な資料の収集・保存に努める。	主な活動実績	
		項目	実績 単位
		蔵書冊数	1,269,093 冊
活動の成果【定性的評価】	活動結果として、2,716,530冊の図書貸出しがあった。 成果として、利用者に対し的確に資料・情報を提供することができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	図書の貸出数	目標値	2,860,000	2,700,000	2,700,000
	単位	冊	指標の種別	結果	実績値・達成状況	2,716,530 未達成
指標・目標値の説明(算定式)		指標:全館の図書貸出数 目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
指標・目標値の説明(算定式)						

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	07目	003細目	03細々目	図書館施設整備費	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)		82,520				36,805	36,805	
決算額(B)		82,021						
財源	特定財源	0						
	一般財源	82,021						
概算人件費(C)		410				390	390	
従事職員人数(人)	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)		82,431				37,195	37,195	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	利用者と時代のニーズに応じた蔵書を構成する必要がある。そのために、収集方針の見直しを行い、定期的な選書会議を開催する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23100301	事業名称	社会教育活動運営事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	社会教育関係委員	社会教育施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	社会教育の諸事業について、審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させるため。	社会教育関係委員会議を開催し、事業内容等を審議する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績
	社会教育関係委員会議・公民館運営審議会・青少年婦人教育施設運営審議会・中央ふれあい館運営審議会を開催した。		項目
			実績
活動の成果【定性的評価】	社会教育の諸事業・施設運営について、審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させることができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	会議及び審議会の実施回数	目標値	36	36	36
	単位	回	指標の種別	活動	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	社会教育委員会議及び公民館等運営審議会等の開催回数				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	002細目	01細々目	社会教育活動運営事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	3,012			2,758			2,758	
決算額(B)	1,773							
財源	特定財源	0						
	一般財源	1,773						
概算人件費(C)	410			390			390	
従事職員人数(人)	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,183			3,148			3,148	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	特に無し	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23100401	事業名称	施設予約システム事業		事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2478	新規・継続	継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法・川口市社会教育施設予約システム運用要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	利用者及び社会教育施設職員	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	利用者の利便性・操作性の向上及び職員の事務の負担を軽減するため。	キオスク端末・携帯電話及びインターネットから社会教育施設の予約を行う。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	キオスク端末・携帯電話及びインターネットから社会教育施設の予約を行った。	項目	実績	単位
		利用件数	148,984	件
利用者数	2,459,298	人		
活動の成果【定性的評価】	平成16年度からシステムが稼働し、キオスク端末・携帯電話・パソコンからの施設予約が定着し、利用者の利便性が向上したことから、事業継続の効果があつた。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	年間利用件数	目標値	109,000	109,000	109,000
	単位	件	指標の種別	結果	実績値・達成状況	148,984 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		年間延べ利用件数(件)・施設予約システムによる施設利用件数			
指標②	名称	年間利用者数	目標値	2,000,000	2,000,000	2,000,000
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	2,459,298 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		年間延べ利用人数(人)・施設予約システムによる施設利用人数			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	002細目	03細々目	施設予約システム事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	7,396			0			0					
決算額(B)	7,396											
財源	特定財源	0										
	一般財源	7,396										
概算人件費(C)	4,100			3,900			3,900					
従事職員人数(人)	常勤	0.50	再任用	0.00	常勤	0.50	再任用	0.00	常勤	0.50	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	11,496			3,900			3,900					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	利用者から様々な要望があり利便性の向上が求められるが、スポーツ施設等とも連動していることから、調整を図りながら更なる利便性の向上に努める。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23100501	事業名称	市民大学事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2478	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市民大学設置要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	生涯学習社会が進展する中で、市民の高度で多様な学習要求に応える。市民が「生きがいづくり」「自己実現」を達成し、より豊かで充実した人生を送ることに貢献する。	市内外の高等教育機関や公民館などの社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等をとりあげる講座を開催する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	人材バンク登録者、大学教授、パソコン講師、歴史作家など多くのジャンルから講師を招き、歴史、自然科学、法律、経済、健康、英会話、手話、ヨガ、情報機器、美術、料理など、さまざま分野にわたる講座を開催した。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	市民大学として38講座、156回を実施し、のべ5,445人が受講され、高度な技術や知識を習得するのに貢献した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	川口市民大学講座数	目標値	152	152	152
	単位	回	指標の種別	活動	実績値・達成状況	156 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	教育委員会主催講座(10講座)及び社会教育施設主催講座(28講座)を実施。1講座4回以上開催。				
指標②	名称	川口市民大学事業参加率	目標値	100	100	100
	単位	%	指標の種別	成果	実績値・達成状況	103.45 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	川口市民大学の申込み率=応募者数/定員×100(%)				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	01細々目	市民大学事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	2,820			2,763			2,763	
決算額(B)	2,342							
財源	特定財源	132						
	一般財源	2,210						
概算人件費(C)	4,920			4,680			4,680	
従事職員人数(人)	常勤	0.60	再任用	0.00	常勤	0.60	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	7,262			7,443			7,443	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	講座開催日を平日夜間または週末に実施し、参加率の低い若い世代の方も参加しやすくなるように努める。また、学習者のニーズを捉えるために各講座終了時にアンケート調査を実施し事業の検証を行う。	29年度 効率化して実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23100601	事業名称	人材バンク事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2463	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市人材バンク「魅学」設置要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)													
	市内在住、在勤または市内で活動している16歳以上の個人または団体	市内在住・在勤・在学の方、市内で活動している団体、市内の教育関連施設等													
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)													
	豊富な知識や経験を持つ個人及び団体の情報を「人材バンク」に登録し、指導者やボランティアとして紹介することで、市民の生涯学習活動や学校における教育活動を支援し、お互いの生きがいづくり、人づくりにつなげていくことを目的とする。	生涯学習に関する資格・技術や経験を有し、市民の生涯学習活動の支援に意欲を持った市民を人材バンクに登録し、自らの自己実現のため生涯学習活動に対し指導者として紹介する。													
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績												
	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は210人の登録者のうち、45人の個人が講師を務めた。 小・中学校では、総合的な学習の時間や部活動、放課後子供教室において講義を実施した。加えて社会教育施設等では折り紙や健康体操に関する講義を実施した。 		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人材バンク魅学依頼件数</td> <td>45</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>人材バンク魅学の講師による講座参加者数</td> <td>5,776</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>人材バンク魅学登録者数</td> <td>214</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	人材バンク魅学依頼件数	45	件	人材バンク魅学の講師による講座参加者数	5,776	人	人材バンク魅学登録者数	214	人
	項目	実績	単位												
人材バンク魅学依頼件数	45	件													
人材バンク魅学の講師による講座参加者数	5,776	人													
人材バンク魅学登録者数	214	人													
活動の成果【定性的評価】	豊富な知識や経験を有し、市民の生涯学習活動の支援に意欲を持った登録者を、自らの自己実現のために生涯学習活動への参加を希望する個人や団体に紹介することにより、双方の自己充足を図る機会を提供することができた。														

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	人材バンク魅学依頼件数	目標値	34	45	45
	単位	件	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		過去3年間の依頼件数の平均値			
指標②	名称	人材バンク魅学登録者数	目標値	214	210	210
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		過去3年間の登録者数の平均値			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	02細々目	人材バンク事業					
年度	28年度				29年度				30年度			
予算現額(A)	30				24				24			
決算額(B)	5											
財源	特定財源				0							
	一般財源				5							
概算人件費(C)	1,230				1,170				1,170			
従事職員人数(人)	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	1,235				1,194				1,194			

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	指導者の登録件数に対して、学習者の依頼が過小であることが課題である。改善方策としては、社会教育施設主催をはじめ、様々なイベントにおいて、登録者が活躍できるよう、積極的に啓発に努めていく。	29年度 拡充して実施 30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23100701	事業名称	子ども大学かわぐち実行委員会交付事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	259-7655	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	子ども大学かわぐち実行委員会設置要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民(市内小学校4~6年生児童)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	地域の複数の大学や市町村、企業が連携して、子ども(小学校4~6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。	3つのテーマに沿って、大学教員や様々な分野のプロフェッショナルが、子どもの疑問に優しく答える講義を提供したり、学んだ成果発表、社会体験活動を行う「学園祭」を実施する。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	○大学教員による科学実験 ○気象予報士によるキャスター体験 ○3DCGアニメーターによるプログラミング学習 ○メディアセブン職員によるワークショップ ○地元大学の学園祭参加(出店)	項目	実績	単位
		申込者数	112	人
	受講者アンケート(とても満足した)	96	%	
活動の成果【定性的評価】	保護者アンケートによると、「毎回の学習内容を家庭でも振り返ったり、作り直したりしていた」など、子どもに主体性が出てきたという主旨の肯定的な内容であり、受講者アンケートも同様であった。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	申込者数	目標値	98	101	101
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		過去参加申込数の平均値			
指標②	名称	受講者アンケート(とても満足した)	目標値	85	87	87
	単位	%	指標の種別	成果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		過去受講者アンケートの平均値			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	04細々目	子ども大学かわぐち実行委員会交付事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	437			437			437	
決算額(B)	437							
財源	特定財源	0						
	一般財源	437						
概算人件費(C)	2,706			2,574			2,574	
従事職員人数(人)	常勤	0.33	再任用	0.00	常勤	0.33	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	3,143			3,011			3,011	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	課題:受講者のニーズに応じつつ、さらに深い学びを提供する講座の企画・実施。 改善方策:他機関と連携し、「ふるさと学」「はてな学」「生き方学」をバランスよく講座に取り入れながら、より魅力的な講座を企画する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23100801	事業名称	社会教育団体育成事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2478	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市公民館等社会教育関係団体育成事業に係わる事業費交付要項

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 社会教育施設利用者および社会教育関係団体等	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 健全な施設運営および社会教育事業の推進を図るため、社会教育関係団体のリーダーとしての資質の向上や、社会教育施設で活動する団体の学習活動の支援促進に寄与する。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 健全な施設運営および社会教育事業の推進を図ることを念頭に、社会教育関係団体のリーダーとして必要な知識もしくは社会教育施設の利用に関する研修会等の実施や、社会教育施設で活動する団体の学習活動の支援および促進に結びつく事業を実施する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 社会教育施設長等が講師となり、施設の利用に関する説明会や、外部講師を登用し災害時での対応や防災対策の知識等を学習する事業を実施した。また、施設で活動する団体と共催して活動の促進に結びつく事業を実施した。	主な活動実績	
活動の成果【定性的評価】	事業として、37事業、40回を実施し、のべ1,841人の参加があり、リーダーとしての資質の向上や、団体の学習活動の支援促進に結びついた。	項目	実績 単位
		社会教育関係団体リーダー研修会	33 事業
		社会教育関係団体共催事業	4 事業

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	事業実施数	目標値	35	35	35
	単位	事業数	指標の種別	活動	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		市内の公民館等の全施設において企画・実施を目指す。(中央ふれあい館及び青少年・婦人会館を含む35館)			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	005細目	01細々目	社会教育団体育成事業					
年度	28年度				29年度			30年度				
予算現額(A)	135				72			72				
決算額(B)	36											
財源	特定財源	0										
	一般財源	36										
概算人件費(C)	820				780			780				
従事職員人数(人)	常勤	0.10	再任用	0.00	常勤	0.10	再任用	0.00	常勤	0.10	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	856				852			852				

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	主体的参加が求められることから、事業数や参加者数では成果が見えない側面がある。また、限りある財源の中で、内容を工夫して事業を実施する必要がある。	29年度 効率化して実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23100901	事業名称	社会教育団体補助事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2461	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、各種補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	川口市PTA連合会 川口市郷土史会 川口市婦人団体連絡協議会	川口市で教育を受ける子供 郷土文化・文化財保護に関わる市民 婦人団体活動に関わる市民			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)			
	各団体の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・発展を図るため。	補助金の交付			
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績			
	各団体の運営費のうち、会議費・研修費等、事業にかかる経費の一部を助成した。	項目	実績	単位	
活動の成果【定性的評価】	講演会及び研修会などの主催事業等、各団体の活動内容が充実し、それぞれの活動目的の進展に寄与した。				

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	005細目	02細々目	社会教育団体補助事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	1,195			1,195			1,195					
決算額(B)	1,195											
財源	特定財源	1,195										
	一般財源	0										
概算人件費(C)	164			156			156					
従事職員人数(人)	常勤	0.02	再任用	0.00	常勤	0.02	再任用	0.00	常勤	0.02	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	1,359			1,351			1,351					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
48 /60	特に無し	29年度	現状維持で実施	
		30年度	現状維持で実施	
		31年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23101001	事業名称	公民館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市立公民館設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公民館等社会教育施設	公民館等社会教育施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	住民への学習機会の提供と多くの人々の新たな交流の場の提供を目的としている。	社会の要請や個人の要望に応えることができるよう、現代的課題を中心とした多種多様な講座の実施や、生涯各期にあわせた事業を展開している。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	・多種多様な講座を実施した。 ・施設の改修を実施した。	項目	実績 単位
		施設の改修	63,723,571 円
		年間教室件数	860 件
活動の成果【定性的評価】	市民の一般的教養が向上し、公民館活動を通じて地域の活性化に繋がった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	施設修繕にかかる費用	目標値	63,736,000	59,779,000	59,779,000
	単位	円	指標の種別	活動	実績値・達成状況	63,723,571 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を鑑みて設定したもの。				
指標②	名称	年間教室件数	目標値	830	830	830
	単位	件	指標の種別	結果	実績値・達成状況	860 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績の積み上げから設定したもの。				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	001細目	01細々目	公民館施設運営費	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	191,172			187,202			187,202	
決算額(B)	149,021							
財源	特定財源	29,872						
	一般財源	119,149						
概算人件費(C)	5,084			4,836			4,836	
従事職員人数(人)	常勤	0.62	再任用	0.00	常勤	0.62	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	154,105			192,038			192,038	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	幅広い年齢層の方々が利用しており、市民の多様な学習ニーズはますます高度化しているため、事業内容の充実・施設の改修等が求められている。 このことから事業の企画は、十分に市民ニーズを把握した上で、魅力ある内容の事業を実施し、また、トイレの様式化等の施設の改修を推進し、利用者へのサービス向上に努める。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23101101	事業名称	中央ふれあい館施設運営費			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	222-3570	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立中央ふれあい館設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央ふれあい館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自発的学習を奨励助長し、知識の習得及び技術の向上を目指す。特に高齢者については交流の場作りとする。	学習内容にふさわしい施設の提供及び市民のニーズに応じた講座の開設	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	子どもや高齢者向けの年齢層に応じた講座のほか、趣味・実技の習得を目的とした講座を実施した。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	川口駅に近いという利便性があり、貸出し可能な部屋数も多く多目的にわたるため、施設の利用率も最も高く、講座も概ね参加率も高い。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	利用者数	目標値	200,000		
	単位	人	指標の種別	実績値・達成状況	262,821	達成
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の実績に基づき算定			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	03目	001細目	01細々目	中央ふれあい館施設運営費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	1,045			1,004			1,004					
決算額(B)	914											
財源	特定財源	914										
	一般財源	0										
概算人件費(C)	23,800			29,190			29,190					
従事職員人数(人)	常勤	0.85	再任用	5.10	常勤	1.75	再任用	4.20	常勤	1.75	再任用	4.20
総事業費(A又はB+C)	24,714			30,194			30,194					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	今後も利用率が低下しないように施設の良好な維持・管理に努めるとともに、特に地域の多様化しているニーズの把握に速やかに対応して講座内容の検討をすることが肝要である。	29年度 効率化して実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23101201	事業名称	婦人会館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	253-1444	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 45 年 ~ 平成 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立婦人会館設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民・利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の文化と教養を高め、社会生活の向上を図るとともに、幼児の教育と福祉の増進に寄与する。	子育て支援や趣味・教養の充実。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績
			項目
	赤ちゃんサロン		実績
	子育て支援講座		単位
	赤ちゃんサロン	441人	16回
	子育て支援講座	124人	4回
	ゆかた着付け教室	43人	4回
活動の成果【定性的評価】	子育て支援(親子のふれあいや離乳食についての学び)に寄与した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	利用者数	目標値	25,000		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	34,974 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	04目	001細目	01細々目	婦人会館施設運営費
年度	28年度			29年度			30年度
予算現額(A)	596			586			586
決算額(B)	550						
財源	特定財源			0			
	一般財源			550			
概算人件費(C)	21,400			26,700			26,700
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	4.00	常勤	2.00	再任用
							3.00
総事業費(A又はB+C)	21,950			27,286			27,286

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	費用対効果を見極め、ニーズの把握に努め、施設の特徴に応じた事業を選択していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23101301	事業名称	青少年会館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	253-1444	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	53	年	～		年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”－ 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり－ ① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市青少年会館設置及び管理条例					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民・利用者			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	子育て支援やスポーツを通して、心身ともに健全な幼児、児童の育成を図る。			遊び、絵本、体操、卓球等		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	キッズクラブ 小学生卓球教室 親子パン作り教室			項目	実績	単位
				キッズクラブ	268人	8回
				小学生卓球教室	83人	9回
			親子パン作り教室	26人	1回	
活動の成果【定性的評価】	子育て支援や小学生の居場所確保につながった。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	利用者数	目標値	30,000	-	-
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	26,351 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の実績に基づき算定			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	05目	001細目	01細々目	青少年会館施設運営費	
年度	28年度			29年度		30年度		
予算現額(A)	379			0		0		
決算額(B)	215							
財源	特定財源	0						
	一般財源	215						
概算人件費(C)	21,400			26,700		26,700		
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	4.00	常勤	2.00	再任用	
						3.00	常勤	
							2.00	
							3.00	
総事業費(A又はB+C)	21,615			26,700		26,700		

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	青少年会館建て替えのため、平成29年度は事業なし。	29年度	休止
		30年度	休止
		31年度	他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23101401	事業名称	文化会館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	222-3612	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	58	年	～		年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” — 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり — ① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立南平文化会館設置及び管理条例・川口市立南平文化会館管理規則					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市内在住・在勤者、および利用者			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。			音楽会、講演会などの主催および共催事業の実施。 ①おかあさんコーラスの集い ②サロンコンサート ③文化講演会		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	音楽会、講演会などの主催および共催事業を実施した。 ①おかあさんコーラスの集い・5/15 参加者292名 ②サロンコンサート・7/8 参加者119名 ③文化講演会・10/8参加者358名			項目	実績	単位
				おかあさんコーラスの集い		1 回数
				サロンコンサート		1 回数
活動の成果【定性的評価】	多くの川口市民の芸術・文化活動の発展に寄与することができた。					

■事業活動・成果の状況

				28年度		29年度		30年度	
指標①	名称	自主事業		目標値		1,220		1,220	
	単位	年間利用者数	指標の種別	結果	実績値・達成状況	770	未達成		
	指標・目標値の説明(算定式)	自主事業における会場収容人数の上限をもとに設定							
指標②	名称	貸館事業		目標値		55,000		55,000	
	単位	年間利用者数	指標の種別	結果	実績値・達成状況	69,219	達成		
	指標・目標値の説明(算定式)	過去5年間の平均実績をもとに設定							

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		10款	06項	06目	001細目	01細々目	文化会館施設運営費				
年度		28年度				29年度				30年度			
	予算現額(A)	785				813				786			
	決算額(B)	770											
財源	特定財源	0											
	一般財源	770											
	概算人件費(C)	24,700				26,300				26,300			
	従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	5.00	常勤	1.00	再任用	5.00	常勤	1.00	再任用	5.00
	総事業費(A又はB+C)	25,470				27,113				27,086			

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	27年度と比べて主催事業への参加者が減少している。講師・出演者の選定をはじめ、事業の内容を充実するとともに、さらなるPRに努める必要がある。	29年度	現状維持で実施
		30年度	拡充して実施
		31年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23101501	事業名称	図書館施設運営費			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	中央図書館	問い合わせ先	#69-2986	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館設置及び管理条例施行規則

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 全市民(施設利用者)	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左			
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民の知的自由を支え、知的要求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援することを目的とする。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 生涯学習の重要な拠点施設として、質の高いサービスを提供し、生涯学習の充実を支援する。			
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績		
	利用者の利便性の向上のため可能な限り開館し、また絵本の読み聞かせやストーリーテリングを通じて、子ども達に本を手渡す機会を作る。さらに、図書館が近くにない地区に住んでいる市民のニーズには移動図書館の運営により応える。		項目	実績	単位
			開館日数	358	日
			おはなし会	465	回
		移動図書館巡回数	232	回	
活動の成果【定性的評価】	活動結果として、入館者数1,800,432人、おはなし会参加人数6,805人、移動図書館利用者数4,133人の利用があった。成果として、個人の生活を豊かにすると共に、社会の一員としての能力を高めるという生涯学習の充実に寄与した。				

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	入館者数	目標値	1,870,000	1,800,000	1,800,000
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	1,800,432 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	指標:中央・前川・新郷・横曽根・鳩ヶ谷図書館及び芝園分室の入館者数 目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定				
指標②	名称	おはなし会参加人数	目標値	7,300	6,800	6,800
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	6,805 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	指標:おはなし会、夏休みおはなし会、クリスマスおはなし会、わらべうたの会の参加者数 目標値:前年度の実績を参考に決定				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計			10款			06項			07目			002細目			01細々目			図書館施設運営費								
年度		28年度									29年度									30年度								
予算現額(A)		415,137									413,308									413,308								
決算額(B)		412,182																										
財源	特定財源	37,660																										
	一般財源	374,522																										
概算人件費(C)		287,000									273,000									273,000								
従事職員人数(人)		常勤	35.00	再任用	0.00	常勤	35.00	再任用	0.00	常勤	35.00	再任用	0.00	常勤	35.00	再任用	0.00	常勤	35.00	再任用	0.00							
総事業費(A又はB+C)		699,182									686,308									686,308								

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	市民の生涯学習へのニーズが多様化しているなか、図書館機能を生かした事業を推進していかなければならない。そのために、従来の事業の枠にとらわられることなく新たな事業を展開していく必要がある。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23101601	事業名称	社会教育施設指定管理者管理運営費			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	中央図書館	問い合わせ先	#69-2986	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年 ~ 平成 30 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立映像・情報メディアセンター設置及び管理条例 他

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 全市民(施設利用者)	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 多様化する住民ニーズに対し、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図るとともに、経営の効率化等を図ることを目的としている。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 指定管理者により、中央図書館視聴覚ホール及び映像・情報メディアセンターの管理並びに各種ワークショップやイベント等の事業サービスを実施する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 年度を通じて、施設の貸出しとワークショップ、講座、講演会・展示及び上映会を実施した。		主な活動実績
			項目
			実績
活動の成果【定性的評価】	活動結果として、ワークショップに720人、各種講座に1,465人、上映会に4,555人の参加者があった。成果として、利用者に対して特色あるイベント等のサービスが提供でき、住民サービスの向上を図ることができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	主催事業参加人数	目標値	8,200	8,500	8,500
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	指標:講座、ワークショップ等主催事業の参加人数 目標値:過去4年間の実績を参考に決定				
指標②	名称	貸出施設・機器利用件数	目標値	22,100	22,000	22,000
	単位	件	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	指標:プレゼンテーションスタジオ、録音スタジオ、編集スタジオ、館内貸出機器の利用件数 目標値:過去4年間の実績を参考に決定				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	001細目	01細々目	社会教育施設指定管理者管理運営費
年度	28年度			29年度			30年度
予算現額(A)	68,915			68,915			68,915
決算額(B)	68,915						
財源	特定財源	0					
	一般財源	68,915					
概算人件費(C)	820			780			780
従事職員人数(人)	常勤	0.10	再任用	0.00	常勤	0.10	再任用
総事業費(A又はB+C)	69,735			69,695			69,695

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	課題は、施設稼働率の向上及び、収益の増加を図ること。改善方策として、集客力の多いイベントを検証し、魅力ある事業を実施する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23101701	事業名称	科学展示施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 科学展示施設利用者、科学出張教室参加者、チャレンジサイエンス参加者	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左												
事業の概要	事業の目的(何のために) 参加体験型の展示物を有効に活用するとともに、各種事業を開催することにより、利用者の科学に対する興味関心を高める。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・実験ショー、科学体験教室、科学出張教室などの実施 ・展示解説・受付案内・各種事業補助のインストラクター業務の委託													
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 実験ショー「サイエンスショー」、身近な素材を使った簡単な科学ものづくり「わくわくワーク」、テーマのあるものづくり・観察実験を行う「どきどきサイエンス」(インストラクター委託による)、講義と観察・実験・工作を組み合わせた「夏休み科学教室」及び展示解説を行った。	主な活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイエンスショー</td> <td>5,069</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>わくわくワーク</td> <td>16,389</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>どきどきサイエンス</td> <td>2,474</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	サイエンスショー	5,069	人	わくわくワーク	16,389	人	どきどきサイエンス	2,474	人
項目	実績	単位													
サイエンスショー	5,069	人													
わくわくワーク	16,389	人													
どきどきサイエンス	2,474	人													
活動の成果【定性的評価】	科学現象の原理原則を学ぶ展示装置や、科学の基礎を学習する科学実験ショーや科学ものづくり教室等を展開し大人から子どもまで楽しみながら学べ、また、学校における授業の一環として効果的に活用された。														

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	科学展示施設入場者数	目標値	80,000	85,520	91,421
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	科学展示施設入場者数 平成26年度の実績を参考に設定				
指標②	名称	館外事業参加者数	目標値	3,909	4,179	4,467
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	館外事業参加者数 平成26年度の実績を参考に設定				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	002細目	01細々目	科学展示施設運営費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	41,802			44,063			46,079					
決算額(B)	41,742											
財源	特定財源	6,727										
	一般財源	35,015										
概算人件費(C)	24,764			22,152			23,556					
従事職員人数(人)	常勤	3.02	再任用	0.00	常勤	2.84	再任用	0.00	常勤	3.02	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	66,506			66,215			69,635					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
50 /60	実験ショー・科学体験教室・科学出張教室などの実施においては、他館の事業も参考にし利用者の満足度を高める必要がある。利用者のニーズに応えるためには老朽化してきている展示装置を更新していく必要がある。今後も展示装置改修事業としての要望を継続しながら、可能な限り予算の枠内で更新していきたい。	<table border="1"> <tr> <td>29年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	29年度	現状維持で実施	30年度	現状維持で実施	31年度	現状維持で実施
29年度	現状維持で実施							
30年度	現状維持で実施							
31年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23101801	事業名称	天文台施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年	～		年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” — 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり — ① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学館利用者、出張事業参加者、ホームページ閲覧者、関係機関			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	本物の天体を、実際に観測・体験することで深い興味と感動を覚え、科学的なものの見方や考え方を身につける。			夜間観測会、天文台ガイドツアー、太陽観測実習、特別観測会、太陽観測出張授業、夜間出張観望会を行うもの。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	夜間観測会、屋上の主天文台と副天文台でその日によく見える惑星や月、星雲などを観察。天文台ガイドツアー、副天文台での太陽観測を中心に3つの天文台を案内。太陽観測出張授業、主に市内小学校6年生と中学校3年生を対象として、小型太陽望遠鏡を用いた太陽の観察授業を行った。			項目	実績	単位
				夜間観測会	460	人
				天文台ガイドツアー	190	人
			太陽観測出張授業	1,235	人	
活動の成果【定性的評価】	実際に望遠鏡をのぞいて天体観測を体験する感動により、天文学や科学全般に対する興味・関心を高めることができた。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度	
指標①	名称	天文台公開参加者数		1,915	2,047	2,189	
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	1,040	未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	天文台を見学した人数 定員及び平成26年度の実績を参考に設定					
指標②	名称	太陽観測出張授業参加者数		922	986	1,054	
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	1,235	達成
	指標・目標値の説明(算定式)	太陽観測出張授業に参加した人数 定員及び平成26年度の実績を参考に設定					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	002細目	02細々目	天文台施設運営費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	724			807			752					
決算額(B)	721											
財源	特定財源	0										
	一般財源	721										
概算人件費(C)	11,972			11,154			11,388					
従事職員人数(人)	常勤	1.46	再任用	0.00	常勤	1.43	再任用	0.00	常勤	1.46	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	12,693			11,961			12,140					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	実施の可否が天候や時間に左右され開催が制限されるため、すべてを予定通りに実施することは難しい。実際に自分の目で見る体験は貴重であるため、可能な限り参加の機会を提供していく。	29年度	現状維持で実施
		30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23101901	事業名称	プラネタリウム施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) プラネタリウム施設利用者。	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 天候や時間帯に左右されずに、星を観て、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	一般投影、キッズアワー、学習投影、宇宙の教室、星空リラクゼーション、星空と朗読、天文講演会等を開催。また、番組制作や機器の保守等の特殊な作業の委託を行うもの。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	一般投影(小学生～一般対象)、キッズアワー(幼児・小学校低学年とその保護者)、学習投影(市内小学校4年生、中学校1年生、幼稚園・保育所)、宇宙の教室(こどもから大人まで学べる天文講座)等を開催した。また、番組制作や機器の保守等の特殊な作業は委託している。	項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	天文学の普及・科学全般に関する興味関心を高めることができた。また、癒しの場としても活用された。			
		一般投影	17,565	人
		キッズアワー	4,527	人
		学習投影	8,577	人

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	プラネタリウム観覧者数	目標値	42,786	45,738	48,894
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	プラネタリウム観覧者数 平成26年度の実績を参考に設定				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	002細目	03細々目	プラネタリウム施設運営費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	14,446			14,583			14,317					
決算額(B)	14,365											
財源	特定財源	6,420										
	一般財源	7,945										
概算人件費(C)	14,268			13,182			13,572					
従事職員人数(人)	常勤	1.74	再任用	0.00	常勤	1.69	再任用	0.00	常勤	1.74	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	28,633			27,765			27,889					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	事業の充実を図るために、市民ニーズの把握や他館等の情報収集について検討が必要である。アンケート調査などを実施することで市民ニーズを把握し、幅広い年齢層の方々が満足できる企画・立案を取り入れていく。市民ニーズを分析するとともに、時節の話題や天文現象などを考慮し事業を進めていく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23102001	事業名称	特別企画事業費			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	一つのテーマを掘り下げる特別展を開催することで、通常の展示とは別の視点から科学に親しむ機会を提供する。	館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの展示物の借用、テーマに精通した業者への委託を活用し、特別展を開催。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの展示物の借用、テーマに精通した業者への委託を活用し、特別展を開催した。	項目	実績	単位
		特別展	17,159	人
サイエンスまつり	9,145	人		
活動の成果【定性的評価】	テーマが異なる特別展ごとに、新たな利用者を獲得できた。また、常設装置では学べない、その時々話題で利用者の満足度を向上させることができた。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	特別展等入場者数	目標値	31,704	33,891	36,230
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	特別展を見学した人数 平成26年度の実績を参考に設定				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	002細目	04細々目	特別企画事業費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	12,022			9,241			15,236					
決算額(B)	11,738											
財源	特定財源	0										
	一般財源	11,738										
概算人件費(C)	8,118			7,878			7,722					
従事職員人数(人)	常勤	0.99	再任用	0.00	常勤	1.01	再任用	0.00	常勤	0.99	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	19,856			17,119			22,958					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	利用者の興味を引く特別展のテーマの選択と、予算範囲内で開催を実施するためには、十分な情報収集と準備・検討が必要である。館独自の企画・立案をするために、情報収集・研修を十分に行い、ニーズに沿った事業を展開していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23102101	事業名称	科学館ネットワーク更新事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	新規	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年 ~ 平成 32 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	科学館利用者及び、科学館ホームページ利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市情報セキュリティに対応できなくなったソフトウェア・ハードウェアの更新を行い、利用者に安全なネットワークを提供する。	科学館のホームページ、館内ネットワークのサーバー等を更新し、5年間のリース契約とするもの。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	平成15年の開館より運用を開始したが、ソフトウェアやハードウェアのメーカーによる保守期限切れで最新セキュリティへのサポートが受けられなくなっているため、サーバーを中心に最新の機器に入れ替える。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	最新のセキュリティへのサポートを受けた安全なネットワークを提供できた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	003細目	03細々目	科学館ネットワーク更新事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	5,457			5,218			5,218					
決算額(B)	3,913											
財源	特定財源	0										
	一般財源	3,913										
概算人件費(C)	738			78			78					
従事職員人数(人)	常勤	0.09	再任用	0.00	常勤	0.01	再任用	0.00	常勤	0.01	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	4,651			5,296			5,296					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	技術的な変化の速いコンピューター機器を運用するために、十分な情報と対策の検討が常に必要である。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23200202	事業名称	青木町公園総合運動場庭球場人工芝改修事業		事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続	継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 27 年 ~ 平成 28 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	施設利用者及び地域住民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	青木町公園総合運動場庭球場人工芝に不具合が生じている状況であり、利用者への利便性を向上させるため改修工事を行うもの。	青木町公園総合運動場庭球場12面のうち4面の改修を行うもの。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	青木町公園総合運動場庭球場12面のうち4面の改修工事	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	青木町公園総合運動場庭球場人工芝部分の改修で、施設利用者への安全・安心な施設の提供による利便性を向上することができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	06細々目	青木町公園総合運動場庭球場人工芝改修事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	64,152			0			0	
決算額(B)	63,990							
財源	特定財源	0						
	一般財源	63,990						
概算人件費(C)	1,230			0			0	
従事職員人数(人)	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	65,220			0			0	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	人工芝の改修工事にあたり、青木町公園総合運動場以外の施設について市民や利用者へ周知し、利用できるような案内していく。また、限られた財源の中で利用者の安全・安心の確保を優先していく必要がある。	29年度 完了 30年度 — 31年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23200301	事業名称	流水プール施設運営費			事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	54	年	～		年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	レクリエーション施設である流水プール場(冬期はアイススケート場)を提供し、心身の健康増進に寄与する。			流水プール場及びアイススケート場の開場期間中における安全・安心な施設運営を行なう。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	流水プール場及びアイススケート場の運営維持管理(委託)、機械設備等の点検・自主検査、開場に向けて施設の不具合箇所の修繕を実施した。			項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	安全・安心な施設運営が出来た。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	入場者数	目標値	90,000	85,000	85,000
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	75,868 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		流水プール場(夏季)とアイススケート場(冬季)の入場者数			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	06目	003細目	01細々目	流水プール施設運営費					
年度	28年度			29年度		30年度						
予算現額(A)	40,658			40,728		40,728						
決算額(B)	39,609											
財源	特定財源	21,876										
	一般財源	17,733										
概算人件費(C)	6,304			7,488		7,488						
従事職員人数(人)	常勤	0.64	再任用	0.32	常勤	0.96	再任用	0.00	常勤	0.96	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	45,913			48,216		48,216						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	施設・設備の老朽化が顕著であり、安全面を重視した総合的な点検・補修等が必要である。今後は現状を把握した上で、計画的な修繕を実施していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23200401	事業名称	スポーツ推進審議会事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市スポーツ推進審議会条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進審議会委員	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの推進に関する事項について調査審議する。	年2回程度会議を開催。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	第1回川口市スポーツ推進審議会(平成28年7月29日開催) 第2回川口市スポーツ推進審議会(平成29年2月16日開催)	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	スポーツの推進に関する事項について調査審議することができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	01細々目	スポーツ推進審議会事業						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	208			208			208						
決算額(B)	194												
財源	特定財源	0											
	一般財源	194											
概算人件費(C)	2,050			1,950			1,950						
従事職員人数(人)	常勤	0.25	再任用	0.00	常勤	0.25	再任用	0.00	常勤	0.25	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	2,244			2,158			2,158						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
50 /60	川口市のスポーツの推進及び振興のため調査・審議し、スポーツ行政に反映していく必要がある。	29年度	現状維持で実施	
		30年度	現状維持で実施	
		31年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23200501	事業名称	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立中学校・高等学校運動部活動指導者派遣事業実施要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中学校・高等学校の運動部活動	各学校の部活動における技術指導を行う指導者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする	指導者は、各学校の部活動における技術指導への協力と援助を行う	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	指導者は、各学校の部活動における技術指導への協力と援助を行った	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	市内中学校・高等学校の運動部活動の充実・活性化が図られた。また、地域の指導者を活用することにより、運動部活動と地域社会との連携を促進し、指導者の資質向上を図ることができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	02細々目	中学校・高等学校運動指導者派遣事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	1,979			1,979			1,979					
決算額(B)	1,577											
財源	特定財源	0										
	一般財源	1,577										
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800					
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	9,777			9,779			9,779					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	外部指導者の種目が偏らないようにしていく。また、指導者としての資質があるか、人格的にも申し分ない者かどうか等、十分に確認が必要となる。各学校、川口市中学校体育連盟と調整・検討を行う。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23200601	事業名称	各種体育大会開催事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年	～		年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	体育大会開催要綱					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	児童			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	児童の健全育成を目的に、スポーツ活動をおとして児童の心身の健康づくりと児童相互の親睦を図る。			少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会			項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	スポーツ大会を通じ、技量の向上と相互の交流を図るとともに、地域社会における正しい集団生活と望ましい社会道徳を身につけさせ、青少年の健全育成が図られた。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	03細々目	各種体育大会開催事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	249			243			243					
決算額(B)	236											
財源	特定財源			0								
	一般財源			236								
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800					
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	8,436			8,043			8,043					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 /60	参加者数の増加に伴い、怪我・事故防止などの安全対策が課題である。参加対象者を限定するなど、実行委員会等と連携を図り安全に実施できるよう取り組んでいく。		29年度	現状維持で実施
			30年度	現状維持で実施
			31年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23200701	事業名称	体育関係表彰事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ活動において功労のあった者及び活躍した選手	受賞者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたりスポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体に対し、市または教育委員会が表彰する。	・川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託 ・中学校駅伝大会表彰 ・スポーツ推進委員10年以上表彰 ・ふれあいなわとび大会の表彰	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	・川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託 ・中学校駅伝大会表彰 ・スポーツ推進委員10年以上表彰 ・ふれあいなわとび大会の表彰	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	各種大会や長年にわたり、スポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体を表彰することにより、今後の活躍と励みとし、市民体育の振興と発展が図られた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	04細々目	体育関係表彰事業						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	706			693			693						
決算額(B)	675												
財源	特定財源	0											
	一般財源	675											
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800						
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	8,875			8,493			8,493						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	表彰者の選定基準について、一部種目に制限がある。表彰の範囲・基準について要項の見直しをし、時代に合った多種多様な種目に対応できるよう検討する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23200801	事業名称	ツデーマーチ実行委員会交付金	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	ツデーマーチ実行委員会交付金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ツデーマーチ実行委員会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	体力低下が社会問題となっていることから、交付することで、事業の推進を図る。	大会を企画運営し、市内及び市外からのウォーカーへのウォーキングの場を提供する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	大会を企画運営し、市内及び市外からのウォーカーへのウォーキングの場を提供した。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	市民の体力向上及び健康増進が図られるとともに、市民相互のふれあいの場を提供し、参加者相互の親睦が図られた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	05細々目	ツデーマーチ実行委員会交付金
年度	28年度			29年度			30年度
予算現額(A)	1,700			1,700			1,700
決算額(B)	1,700						
財源	特定財源	0					
	一般財源	1,700					
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用
総事業費(A又はB+C)	9,900			9,500			9,500

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	大勢の方が参加するような大会づくりを目指す。大規模な大会になるよう広報活動の強化が必要。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23200901	事業名称	学校体育協会事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法/学校体育奨励交付金要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市学校体育協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市立小・中・高等学校教育の一環として、児童・生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な児童・生徒を育成するとともに、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。	小・中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小学校体育主任研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小学校体育主任研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	各種大会・記録会を開催することにより、他校の選手と競い合うことで競技力の向上が図られ、同時にスポーツの実践を通じて児童・生徒の健全育成が図られた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	01細々目	学校体育協会事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	3,425			3,295			3,295					
決算額(B)	3,194											
財源	特定財源	0										
	一般財源	3,194										
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800					
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	11,394			11,095			11,095					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	児童・生徒の運動離れが広がっており、どのような学校体育の振興が可能かが課題である。今後も継続的にスポーツ教室・大会等を開催する他、新たなスポーツの機会の提供や、生徒が参加しやすい仕組みを検討する必要があると考えられる。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23201001	事業名称	体育協会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2468	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市スポーツ協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	スポーツ功績を表彰をして榮譽を讃え、活力と向上精神を刺激し、スポーツの普及発展につなげ、また、川口市のスポーツ情勢を幅広く市民に周知情報を提供することにより市民のスポーツ参加を促し、スポーツの意識向上を図ることが目的である。	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成した。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成した。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなり、更にスポーツ表彰により、一層のスポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	02細々目	体育協会事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	53,844			53,844			53,844	
決算額(B)	53,844							
財源	特定財源	0						
	一般財源	53,844						
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800	
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	62,044			61,644			61,644	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
60 /60	スポーツの普及促進につき、スポーツ教室、表彰等は大変重要であり、継続的に行う必要がある。今後においてはスポーツ教室、表彰体系、広報誌の方法を更に検討するもの。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23201101	事業名称	スポーツ推進委員協議会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2468	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法第32条2項(スポーツ振興法改正 平成23年8月24日施行) / スポーツ推進委員協議会事業交付金要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進委員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	ニュースポーツを広めるなど、スポーツ全般的な推進につながるよう交付を行っているもの。	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行うもの。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行った。	項目	実績
		単位	
活動の成果【定性的評価】	スポーツレクリエーションの推進での市民の満足度は非常に高いものとなった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	03細々目	スポーツ推進委員協議会事業
年度	28年度			29年度			30年度
予算現額(A)	12,983			13,068			13,068
決算額(B)	12,389						
財源	特定財源	0					
	一般財源	12,389					
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用
総事業費(A又はB+C)	20,589			20,868			20,868

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
60 /60	スポーツ基本法により、特にスポーツ推進委員は住民に直結しており、スポーツ推進の諸施策を実行する機関であるがゆえに補助金交付は適正だが、将来的に住民ニーズに合わせた補助額の増減額の見直しを検討する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23201201	事業名称	レクリエーション協会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	レクリエーション協会事業交付金要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市レクリエーション協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	レクリエーション協会として事業を行うことにより、川口市が健康にして明るい産業都市となる事を目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 ・市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校) ・市民レクリエーション祭 ・各種大会沿道警備 	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	<ul style="list-style-type: none"> ・少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 ・市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校) ・市民レクリエーション祭 ・各種大会沿道警備 	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	広く市民にスポーツレクリエーションを奨励し、健康増進を図ると共に市民相互のふれあいの場を提供し、生涯スポーツ都市川口の建設に寄与した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	04細々目	レクリエーション協会事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	3,878			3,878			3,878	
決算額(B)	3,878							
財源	特定財源	0						
	一般財源	3,878						
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800	
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	12,078			11,678			11,678	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	市民ニーズがますます増大することが考えられることから、調査研究が必要である。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23201301	事業名称	スポーツ少年団事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2468	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ少年団事業交付金要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ少年団	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	発育発達途上にある少年少女を対象に、心と身体の健全育成とスポーツ活動を通じて立派な社会人に育てることを目的とした事業であるため、支援が必要である。	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・母集団研修 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・母集団研修 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	各種大会により団員の競技力・体力の向上はもとより、活動を通じた自主性の育成が図られた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	目標値				
	単位	指標の種類	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称	目標値				
	単位	指標の種類	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	05細々目	スポーツ少年団事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	1,200			1,200			1,200					
決算額(B)	1,200											
財源	特定財源	0										
	一般財源	1,200										
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800					
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	9,400			9,000			9,000					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
46 /60	スポーツ少年団の活動は競技スポーツばかりでなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動など幅広く捉えている。ということに関係者によく理解してもらう。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23201401	事業名称	スポーツ推進補助事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	社会体育奨励交付金交付要綱/県代表選手派遣交付金交付基準/川口市スポーツ・レクリエーション傷害見舞金に関する規則

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・公民館地区レクリエーション協会(33団体)市在住在勤の方 ・派遣選手(団体または個人) ・スポーツやレクリエーション活動中に傷害を受けた市内在住または在勤・在学の方	受益者(最終的に受益を受ける人)													
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民のスポーツ活動、生涯スポーツ活動、競技スポーツ活動の普及を図り、活動する市民へ負担を軽減するため支援するもの。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・各公民館地区におけるスポーツ事業の育成のための交付 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付													
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・各公民館地区におけるスポーツ事業の育成のための交付 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	主な活動実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績	単位									
項目	実績	単位													
活動の成果【定性的評価】	・地区大会の当の実績が報告され、スポーツを通じ地域コミュニティが活性できた。 ・競技力の向上により、優秀な選手を輩出できた。 ・スポーツレクリエーションに安心して参加ができた。														

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	06細々目	スポーツ推進補助事業						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	15,927			15,927			15,927						
決算額(B)	15,602												
財源	特定財源	0											
	一般財源	15,602											
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800						
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	23,802			23,727			23,727						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	・事業の簡素化や経費の削減の検討が必要。 ・全国大会等に出場する選手が増えているため予算の増額の検討が必要。 ・長年、交付基準と交付額の見直しがされていない。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23201501	事業名称	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	地区周辺の市民及び施設利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	専門性の高い競技施設として機能し、県・関東・全国規模の大会会場として使用しており、各競技団体等との連携を図りながら円滑な施設運営を行い、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	指定管理者制度を活用し、(公財)川口市スポーツ協会に施設全般の管理運営等業務等を委託した。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設としての運営ができることや、専門的分野の競技力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	施設利用者数	目標値	455,906		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	428,762 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	04細目	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	154,286			154,948			155,444	
決算額(B)	154,286							
財源	特定財源	0						
	一般財源	154,286						
概算人件費(C)	2,050			1,794			1,794	
従事職員人数(人)	常勤	0.25	再任用	0.00	常勤	0.23	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	156,336			156,742			157,238	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	指定管理者制度施設と直営施設におけるサービスの格差が生じる恐れがある。直営施設に対する余波を研究しながら、今後の施設管理を検討する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23201601	事業名称	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	地区周辺の市民及び施設利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	民間ノウハウを活用し一層のサービス向上を提供及びコスト削減を図り、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	指定管理者制度を活用し、(株)コナミスポーツクラブグループに施設全般の管理運営等業務等を委託した。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設として運営ができることや、専門的分野の競技力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	施設利用者数	目標値	478,194		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	482,130 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	05細々目	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	134,797			134,986			134,986	
決算額(B)	134,797							
財源	特定財源	0						
	一般財源	134,797						
概算人件費(C)	2,050			1,794			1,794	
従事職員人数(人)	常勤	0.25	再任用	0.00	常勤	0.23	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	136,847			136,780			136,780	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	指定管理者制度施設と直営施設におけるサービスの格差が生じる恐れがある。直営施設に対する余波を研究しながら、今後の施設管理を検討する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23201701	事業名称	施設予約システム事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続
					新規

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年 ~ 平成 28 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	利用者及び施設職員	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	利用者の利便性・操作性の向上及び職員の事務の負担を軽減するため。	キオスク端末・携帯電話及びインターネットからスポーツ施設の予約方法等の修正を行う。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	キオスク端末・携帯電話及びインターネットからスポーツ施設の予約方法等の利便性の向上を図るため改修を行った。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	平成16年度からシステムが稼動し、キオスク端末・携帯電話・パソコンからの施設予約が定着し、利用者の利便性が向上したことから、事業継続の効果があつた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	07細々目	施設予約システム事業						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	13,662			0			0						
決算額(B)	13,662												
財源	特定財源	0											
	一般財源	13,662											
概算人件費(C)	2,050			0			0						
従事職員人数(人)	常勤	0.25	再任用	0.00	常勤	0.00	再任用	0.00	常勤	0.00	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	15,712			0			0						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	利用者から様々な要望があり利便性の向上が求められるが、スポーツ施設等とも連動していることから、調整を図りながら更なる利便性の向上に努める。	29年度 完了 30年度 — 31年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23201801	事業名称	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認取得事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続
					新規

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年 ~ 平成 29 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	施設利用者及び地域住民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	青木町公園総合運動場陸上競技場走路の損傷が激しく不具合が生じている状況であり、利用者への利便性を向上及び日本陸上競技連盟の公認を取得するため改修工事を行うもの。	日本陸上競技連盟の公認を取得するため、青木町公園総合運動場陸上競技場の走路等改修及びインフィールド内の天然芝張替え工事を行うもの。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	青木町公園総合運動場陸上競技場の走路等全天候舗装工事及び天然芝改修工事	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	青木町公園総合運動場陸上競技場走路等の改修で、施設利用者への安全・安心な施設の提供による利便性を向上することができる。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	08細々目	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認取得事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	131,477			285,028			0	
決算額(B)	131,477							
財源	特定財源	0						
	一般財源	131,477						
概算人件費(C)	1,230			0			0	
従事職員人数(人)	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	132,707			285,028			0	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	改修工事にあたり、青木町公園総合運動場以外の施設について市民や利用者へ周知し、利用できるよう案内していく。また、限られた財源の中で利用者の安全・安心の確保を優先していく必要がある。	29年度 現状維持で実施 30年度 完了 31年度 -

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23201901	事業名称	スポーツ教室開催事業費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2468	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	45	年	～		年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市立体育施設設置及び管理条例					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ教室受講者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	教室を開催することで、初心者の方や向上心のある方が気軽にスポーツに参加でき、更にはスポーツの楽しさを知ってもらうことや、心身の成長に貢献することが目的である。	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	教室においては、30歳代から70歳代まで幅広い年齢層で開催することができ、スポーツの楽しさや、世代間交流及び健康増進への意欲向上につなげることができ、川口市のスポーツ振興に貢献することができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	002細目	01細々目	スポーツ教室開催事業費
年度	28年度			29年度			30年度
予算現額(A)	1,180			1,008			1,008
決算額(B)	1,158						
財源	特定財源	1,158					
	一般財源	0					
概算人件費(C)	19,800			18,500			18,500
従事職員人数(人)	常勤	0.00	再任用	6.00	常勤	0.00	再任用
総事業費(A又はB+C)	20,958			19,508			19,508

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
60 /60	人気のある教室については定員を超える応募があるが、定員割れる教室もある。施設独自で教室内容を検討しているため、状況はそれぞれ違うが、各施設で情報を共有することで、より魅力のある教室を開催できる可能性もある。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23300102	事業名称	文化芸術鑑賞事業			事業区分	主要な事業 政策宣言12
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術振興基本法

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民及び来訪者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	幅広い分野の文化・芸術に関する事業の開催を通して市民が多彩なジャンルの文化・芸術を鑑賞する機会を提供することにより、市民の文化力向上に寄与する。	市内在住の文化・芸術活動を行っている個人・団体等を講師とし、夏休みの小・中・高校生を生徒を対象とした文化・芸術活動の体験ワークショップを行い、発表の場を提供する。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	川口総合文化センターにおいて「いけばな展覧会」創って・観て・楽しむを実施し、華道連盟の協力のもと、日本の伝統文化である「いけばな」を通して自然を愛する心を育み、文化芸術に触れる機会を提供した。	項目	実績	単位
		いけばな教室	1	回
活動の成果【定性的評価】	・小学3年生から高校生までの児童、生徒36人が参加した。 ・参加者にとってはいけばなに興味を持つきっかけとなり、講師にとっては次世代の育成につながったと考える。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	発表会への観覧者数	目標値	244		
	単位	人	指標の種別	実績値・達成状況	257	達成
	指標・目標値の説明(算定式)		111人(前年度1日あたり平均観覧者数)×2日間(発表会会期日数)×1.1(前年比10%増)			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	12目	002細目	02細々目	文化芸術鑑賞事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	915			442			669	
決算額(B)	745							
財源	特定財源	0						
	一般財源	745						
概算人件費(C)	1,394			1,326			1,326	
従事職員人数(人)	常勤	0.17	再任用	0.00	常勤	0.17	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,139			1,768			1,995	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	新たな観覧者、参加者を増やすため、広報活動に関して、市民の関心を得られるよう、創意工夫をする。	29年度 効率化して実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23300202	事業名称	アートギャラリー企画関係費			事業区分	主要な事業 政策宣言12
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	253-0222	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民の美術に対する意識の高揚を図るとともに、美術の鑑賞・創作活動の場を提供し、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会、講演会、講習会、ワークショップに伴う企画・運営・広報 ・展覧会実施に伴う展示制作 ・展覧会会場の管理・運営 		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主企画展覧会を6事業、186日実施した。 ・ワークショップを10事業、10日実施した。 ・実技講座を3事業、3日実施した。 ・企画展関連イベントを22事業、40日実施した。 	項目	実績	単位
		春の企画展<ここにもアートかわぐち>	6,850	人
		公募<新鋭作家展>	1,348	人
活動の成果【定性的評価】	さまざまな内容の企画・展示を行うことにより、市民のアートに対する興味を喚起することができた。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	自主企画事業の入場者数	目標値	12,736		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	14,856 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比5%増を目指す。				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	13目	001細目	02細々目	アートギャラリー企画関係費						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	21,481			18,982			18,982						
決算額(B)	20,733												
財源	特定財源	0											
	一般財源	20,733											
概算人件費(C)	13,120			12,480			12,480						
従事職員人数(人)	常勤	1.60	再任用	0.00	常勤	1.60	再任用	0.00	常勤	1.60	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	33,853			31,462			31,462						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	広報かわぐちや隔月刊発行ニュース等の広報を行っているが企画の内容によっては入場(参加)者が少ないことがある。今後においても、自主企画、ワークショップ、講座等については、新聞等のメディアやウェブ等を使用した広報を強化し、参加者等に情報を発信できるように改善を目指す。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23300301	事業名称	総合文化センター指定管理者管理運営費		事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	5312	新規・継続	継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	総合文化センター設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口総合文化センター	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口総合文化センターの施設管理	川口総合文化センターの維持管理及び施設修繕等	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	指定管理者制度のもと、財団に運営を委託した	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	事故等問題なく運営できた		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	22目	001細目	01細々目	総合文化センター指定管理者管理運営費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	490,370			484,370			484,370					
決算額(B)	484,014											
財源	特定財源	64,555										
	一般財源	419,459										
概算人件費(C)	1,476			1,170			1,170					
従事職員人数(人)	常勤	0.18	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	485,490			485,540			485,540					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	不明	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	特になし	29年度	現状維持で実施
		30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23300501	事業名称	市民コンサート事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術振興基本法

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	広く市民が多彩な音楽に触れ、音楽を楽しむ機会を設けることにより、本市の音楽文化のさらなる発展・向上に繋げることを目的とする。	市民コンサートの実施。	
28年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	<ul style="list-style-type: none"> 10月22日(土)「ジャズのひと時」西公民館2階講座室 12月11日(日)「音宇宙を奏でる」アートギャラリーウッドデッキ 3月20日(月)「アイリッシュミュージックライブ」並木公民館3階視聴覚室 	項目	実績
活動の成果 【定性的評価】	<ul style="list-style-type: none"> 「ジャズのひと時」入場者数127人、「音宇宙を奏でる」入場者数172人、「アイリッシュミュージックライブ」入場者数56人 市内で活動する音楽家への活躍の場を提供するとともに、市民が気軽に多様な音楽への興味・関心を持つ機会になった。 		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	市民コンサートへの入場者数	目標値	1,000		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	355 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	303人(前年度1回あたり平均入場者数)×3回(実施回数)×1.1(前年比10%増)				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	12目	002細目	01細々目	市民コンサート事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	739			938			938	
決算額(B)	488							
財源	特定財源	0						
	一般財源	488						
概算人件費(C)	2,214			2,106			2,106	
従事職員人数(人)	常勤	0.27	再任用	0.00	常勤	0.27	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,702			3,044			3,044	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	コンサートを実施するに堪える会場の確保が課題となっており、今後は公民館や旧田中家住宅等の活用できていなかった市内施設を活用する。	29年度 拡充して実施 30年度 拡充して実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23300601	事業名称	芸術賞賞賜事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	62	年	～		年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術振興基本法、各種表彰規程					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術に携わる市民全般	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたり本市の文化・芸術振興に貢献した方の功労を顕彰し、将来を嘱望される方の奨励を行うことにより、市民文化の向上・発展に寄与するものである。	市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」、青少年を対象とした「青少年文化活動奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行う。	
28年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	・10月23日川口駅前市民ホール「フレンジア」にて文化三賞表彰式とバイオリン演奏会を実施し、「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」「青少年文化活動奨励賞」を授与。 ・2月15日市長公室にて「青少年文化活動奨励賞」を授与。	項目	実績
活動の成果 【定性的評価】	・受賞者の文化芸術に関する功績や活動の業績を、広く市民あてに顕彰することにより、本市の文化力の向上を喚起する推進力へと繋がった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	表彰式入場者数	目標値	113		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	211 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		前年の入場者数(103人)×1.1(前年比10%増)			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	12目	002細目	03細々目	芸術賞賞賜事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	898			920			920	
決算額(B)	852							
財源	特定財源	0						
	一般財源	852						
概算人件費(C)	1,804			1,716			1,716	
従事職員人数(人)	常勤	0.22	再任用	0.00	常勤	0.22	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,656			2,636			2,636	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	表彰式に観客をどのようにして集めるかが課題であり、想定される来場者のニーズに合わせたイベントの企画、広報を充実させる。	29年度 拡充して実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23300701	事業名称	文化振興交付事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 52 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化振興基金条例、各種交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 文化芸術活動を行う個人や団体	受益者(最終的に受益を受ける人) 市民	
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を積極的に支援することにより、文化芸術の振興を図り、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の実現に役立てる。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 市内の文化芸術活動を行う個人や団体を補助金の交付によって支援することにより、市内の文化団体・個人の発展、ひいては市の文化力向上に寄与する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	・市内で文化活動を行っている個人・団体を対象に助成事業の公募を行い、選考を経て、10団体に助成金を交付。 ・初午太鼓コンクール、文化祭実行委員会、青少年ピアノコンクール実行委員会、美術展実行委員会、かわぐち音楽の日実行委員会へ補助金を交付。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	・文化振興助成事業助成金交付団体数10団体、補助金交付事業団体数5団体 ・市民の自主的な文化事業や創造的な芸術活動を支援することにより、本市の文化力向上を推進する結果となった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	文化振興助成金の交付要望件数	目標値	3		
	単位	件	指標の種別	結果	実績値・達成状況	10 達成
指標・目標値の説明(算定式)		2(前年交付要望件数)+1件				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
指標・目標値の説明(算定式)						

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	12目	002細目	04細々目	文化振興交付事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	19,518			15,475			15,475	
決算額(B)	15,459							
財源	特定財源	2,420						
	一般財源	13,039						
概算人件費(C)	15,580			14,820			14,820	
従事職員人数(人)	常勤	1.90	再任用	0.00	常勤	1.90	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	31,039			30,295			30,295	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	文化振興基金の創設を機に平成19年4月から文化振興助成の制度がスタートしたが、この制度の更なる周知が必要であり、従来の方法に加えて、関係団体への周知を強化するとともに、公民館等市内公共施設登録団体等への周知にも力を入れていく。	29年度 効率化して実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23300801	事業名称	旧芝園中学校アトリエ利用事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 25 年 ~ 平成 31 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	創作活動の場を希望するアーティスト及び市民	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	創作活動の場所に窮しているアーティストに対して活動の場を提供することでアーティストの育成及び支援を図り、併せて、施設での活動としてワークショップ、発表会等の市民が参加交流出来る場を設けることにより、市民の文化芸術の造詣を深め、本市の文化芸術活動の振興を図る。	旧芝園中学校の空き校舎の有効活用として平成25年10月より5年の期間一般教室、特別教室をアーティストへ活動場所として提供(管理団体:一般社団法人アブリュス)。また、イベントとしてワークショップ(巨大な絵画制作)を開催。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	一般社団法人アブリュスによるワークショップの実施。	項目	実績 単位
		ワークショップ委託回数	1 回
活動の成果【定性的評価】	・芝富士小学校生徒(5・6年生)ワークショップ参加人数 90人 ・ワークショップ等で近隣住民の方と文化を通して交流が生まれるなど、川口市の文化・芸術の振興に寄与することが出来た。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	アーティストの登録人数	目標値	34		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	42 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		貸出し部屋数(17部屋)×2名			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	12目	002細目	05細々目	旧芝園中学校アトリエ利用事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	250			300			300	
決算額(B)	250							
財源	特定財源	0						
	一般財源	250						
概算人件費(C)	1,230			1,170			1,170	
従事職員人数(人)	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	1,480			1,470			1,470	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	ソフト事業の管理ではあるが、定期的に訪問し、活動内容を確認することが必要であると思われる。	29年度 拡充して実施 30年度 現状維持で実施 31年度 完了

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	23300901	事業名称	文化団体補助事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化団体連合会補助金交付要綱、川口市市民音楽協会補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市文化団体連合会、川口市市民音楽協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市内における文化芸術活動を担う団体への支援を行うことを通じ、各種文化活動の促進、市民文化の高揚を図る。	川口市文化団体連合会が行う文化活動の啓発等に関わる事業費や市民音楽協会加盟団体への援助を行うため、補助金を交付する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	川口市文化団体連合会、川口市市民音楽協会への補助金の交付	項目	実績 単位
		補助金交付団体	2 団体
活動の成果【定性的評価】	・補助金交付2団体 ・市民の自主的な文化芸術活動の振興と事業に携わる人材の育成及び交流の構築を図ることが出来た。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	文化団体連合会加盟団体数	目標値	124		
	単位	団体	指標の種別	結果	実績値・達成状況	117 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		前年度の団体数の維持。			
指標②	名称	川口市市民音楽協会加盟団体数	目標値	61		
	単位	団体	指標の種別	結果	実績値・達成状況	62 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		前年度の団体数の維持。			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	12目	003細目	01細々目	文化団体補助事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	1,650			1,650			1,650					
決算額(B)	1,650											
財源	特定財源	0										
	一般財源	1,650										
概算人件費(C)	1,066			1,014			1,014					
従事職員人数(人)	常勤	0.13	再任用	0.00	常勤	0.13	再任用	0.00	常勤	0.13	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,716			2,664			2,664					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	加盟団体の高齢化が進んでおり、今後若い世代をどのようにして増やしていくかが課題であるが、団体に対して行政からも情報の提供、助言などを適宜行っていく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	23301001	事業名称	アートギャラリー事業運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	253-0222	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民及び文化共催展などの関係団体	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	文化共催展などの関係団体等に美術の鑑賞・創作活動の場を提供することで、市民の美術作品に対する意識の高揚を図るとともに、文化芸術活動の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営審議会の運営 ・美術非常勤特別職・アドバイザーに伴う報酬・報償の支払い ・展覧会、講演会、講座、ワークショップ等の開催に伴う調査・研究 ・共催展に関する展示、印刷物の配布 ・美術及び館運営等に関する情報収集 		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回運営審議会を実施した。 ・今後の館運営の参考となりそうな展覧会等の調査・研究、美術館運営に関する情報収集のため職員を派遣した。 ・各種共催展の展示及びそれに関する印刷物配布。 ・11団体、112日の貸館利用があった。 	項目	実績	単位
		川口市美術家協会選抜展	1,213	人
		川口市小・中・高校硬筆展覧会	6,575	人
		川口の図工美術まなび展	1,409	人
活動の成果【定性的評価】	さまざまな内容の企画・展示を行うことにより、関係団体の活動の活性化が図られ、また、アートに対する市民の興味を喚起することができた。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	共催・連携事業の入場者数	目標値	16,679		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	17,075 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比5%増を目指す。				
指標②	名称	貸館利用の入場者数	目標値	8,994		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	7,004 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	貸館利用者数の前年比5%増を目指す。				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	13目	001細目	01細々目	アートギャラリー事業運営費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	13,643			14,712			14,712					
決算額(B)	12,008											
財源	特定財源	1,807										
	一般財源	10,201										
概算人件費(C)	14,760			14,040			14,040					
従事職員人数(人)	常勤	1.80	再任用	0.00	常勤	1.80	再任用	0.00	常勤	1.80	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	26,768			28,752			28,752					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
52 /60	企画の内容によっては入場(参加)者が少ないことがある。広報かわぐちや隔月刊発行ニュース等の広報を行っているが、共催・連携事業においては、学校等との連携を図りつつ、新聞等のメディアやウェブ等を使用した広報を強化し、今よりも参加者への情報発信ができるよう更なる改善を目指す。	<table border="1"> <tr> <td>29年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	29年度	現状維持で実施	30年度	現状維持で実施	31年度	現状維持で実施
29年度	現状維持で実施							
30年度	現状維持で実施							
31年度	現状維持で実施							